

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 24 年 1 月 26 日 (2012.1.26)

【公開番号】特開 2010-181220 (P2010-181220A)  
 【公開日】平成 22 年 8 月 19 日 (2010.8.19)  
 【年通号数】公開・登録公報 2010-033  
 【出願番号】特願 2009-23541 (P2009-23541)  
 【国際特許分類】

G 0 4 G 5/00 (2006.01)

G 0 4 G 99/00 (2010.01)

G 0 4 C 9/02 (2006.01)

【 F I 】

G 0 4 G 5/00 J

G 0 4 G 1/00 3 1 3 Z

G 0 4 C 9/02 D

【手続補正書】  
 【提出日】平成 23 年 12 月 1 日 (2011.12.1)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 1 1  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【 0 0 1 1 】

本発明は、上記目的を達成するために、  
 時刻コードが含まれる電波を受信して前記時刻コードを取得する時刻情報受信部と、  
 この時刻情報受信部により取得された時刻コードを標準電波フォーマットに従って判読  
 して時刻情報を得る第 1 コード判読手段と、  
 前記時刻情報受信部により取得された時刻コードの固定値となる符号位置に付加された  
 情報コードを判読する第 2 コード判読手段と、  
 を備えたことを特徴とする時刻情報受信端末である。

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 1 2  
 【補正方法】削除  
 【補正の内容】  
 【手続補正 3】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 1 3  
 【補正方法】削除  
 【補正の内容】  
 【手続補正 4】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 1 4  
 【補正方法】削除  
 【補正の内容】  
 【手続補正 5】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 12】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

時刻コードが含まれる電波を受信して前記時刻コードを取得する時刻情報受信部と、  
この時刻情報受信部により取得された時刻コードを標準電波フォーマットに従って判読して時刻情報を得る第 1 コード判読手段と、  
前記時刻情報受信部により取得された時刻コードの固定値となる符号位置に付加された情報コードを判読する第 2 コード判読手段と、  
を備えたことを特徴とする時刻情報受信端末。

【請求項 2】

前記第 2 コード判読手段は、  
前記情報コードとして電波送信地域の時差情報が表わされる時差コードを判読する構成であることを特徴とする請求項 1 記載の時刻情報受信端末。

【請求項 3】

前記第 2 コード判読手段は、

前記情報コードとして電波送出元の種別が表わされる送出種別コードを判読する構成であることを特徴とする請求項 1 記載の時刻情報受信端末。

【請求項 4】

前記第 2 コード判読手段により判読される前記情報コードには、

電波送信地域の時差情報が表わされる 6 ビットの時差コードと、電波送出元の種別が表わされる 2 ビットの送出種別コードとが含まれることを特徴とする請求項 1 記載の時刻情報受信端末。

【請求項 5】

前記第 1 コード判読手段によって判読された時刻情報に基づき時刻を表示する時刻表示手段と、

この時刻表示手段の時刻が所定国の時間であるか所定国外の時間であることを示すワールドタイム標識を表示する標識表示手段と、

前記第 2 コード判読手段によって判読された前記情報コードに基づき、前記時刻情報が前記所定国の時刻か否かを判別し、この判別結果に応じて前記標識表示手段の表示内容を制御する制御手段と、

を備えたことを特徴とする請求項 1 記載の時刻情報受信端末。

【請求項 6】

前記第 1 コード判読手段によって判読された時刻情報に基づき時刻を表示する時刻表示手段と、

この時刻表示手段の時刻が何れの地域の時刻であることを表わす地域情報を表示する地域情報表示手段と、

前記第 2 コード判読手段によって判読された前記情報コードに基づき、前記時刻情報が何れの地域の時刻であることを判別し、この判別結果に応じて前記地域情報表示手段の表示内容を制御する制御手段と、

を備えたことを特徴とする請求項 1 記載の時刻情報受信端末。

【請求項 7】

時刻コードを電波に乗せて送出する時刻情報送出装置と、前記電波を受信して前記時刻コードを取得する時刻情報受信端末と、を備えた時刻情報送受信システムにおいて、

前記時刻情報送出装置は、

標準電波フォーマットに従って時刻情報を符号化した時刻コードに対して、前記標準電波フォーマットの固定値となる符号位置に、情報コードを付加して更新された時刻コードを生成する時刻コード生成手段と、

この時刻コード生成手段により生成された時刻コードを電波に乗せて送出する電波送信手段と、

を備え、

前記時刻情報受信端末は、

前記電波を受信して前記時刻コードを取得する電波受信手段と、

この電波受信手段により取得された時刻コードを判読して時刻情報を取得する第 1 判読手段と、

前記電波受信手段により取得された時刻コードのうち前記情報コードを判読する第 2 判読手段と、

を備えていることを特徴とする時刻情報送受信システム。

【請求項 8】

前記時刻コード生成手段が付加する前記情報コードには、

電波送信地域の時差情報が表わされる時差コードと、電波送出元の種別が表わされる送出種別コードとが含まれることを特徴とする請求項 7 記載の時刻情報送受信システム。

【請求項 9】

標準電波フォーマットに従って時刻情報を符号化した時刻コードに対して、前記標準電波フォーマットの固定値となる符号位置に、情報コードを付加して更新された時刻コード

を生成する時刻コード生成手段と、

この時刻コード生成手段により生成された時刻コードを電波に乗せて送出する電波送信手段と、

を備えていることを特徴とする時刻情報送出装置。

【請求項 10】

前記時刻コード生成手段が付加する前記情報コードには、

電波送信地域の時差情報が表わされる時差コードと、電波送出元の種別が表わされる送出種別コードとが含まれることを特徴とする請求項 9 記載の時刻情報送出装置。